

intra-mart 文書管理システム ver5.0

リリース・ノート

第 5 版 2008/03/31

1. バージョンアップ内容

以下にこのバージョンで変更になった点を列挙します。

なお、各機能の詳細に関してはマニュアルを参照して下さい。

また、各機能の設定方法に関しては、マニュアルまたはインストールガイド等を参照して下さい。

◆ バージョンアップ内容

- 画面デザインの一貫化
- 電子ファイル閲覧方法を次の2パターンより設定できるように変更
 - ・ ブラウザ内に表示して閲覧する方法
 - ・ ファイルをダウンロードして閲覧する方法
- ポートレットの追加
 - ・ 掲示版-管理部門からのお知らせ
 - ・ 掲示版-新着タスク
- 標準ロール追加、標準メニューの変更
- エラーメッセージの見直し
- 電子ファイルダウンロード時のログ出力機能追加

2. システム要件

intra-mart 文書管理システム Ver.5.0 は、以下の製品上で動作します。

◆ サーバ要件

以下、弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。

intra-mart 製品	Java ランタイム	サーバ OS	Web サーバ および バージョン	データベース
intra-mart ベースモジュール ver5.0,ver5.1, intra-mart WebPlatform ver6.0,ver6.1 + intra-mart 文書管理システム ver5.0 (Ver 5.0.4)	SUN JDK1.4.2_09	Windows2000(SP4) Windows2003	intra-mart HTTP Server Ver5.0	Oracle 9.2 Oracle 10g SQLServer2000 SQLServer2005
			IIS6.0	
			Apache2.0.47(DSO サポート版)	
	SUN JDK1.4.2_09	Redhat Linux Advanced Server3	intra-mart HTTP Server Ver5.0	Oracle 9.2 Oracle 10g
			Apache2.0.47(DSO サポート版)	
	SUN JDK1.4.2_10	Solaris9	intra-mart HTTP Server Ver5.0	
Apache2.0.47(DSO サポート版)				

- サーバ OS「Linux」「Solaris」および DB「SQLServer2000」「SQLServer2005」で構築する場合はパッチ 5.0.1 以降の適用が必須となります。
- 256MB 以上の RAM(OS やその他のソフトウェアが動作するために必要なメモリが別途必要です)
 ※注意 作成されるアプリケーションで多くのメモリを必要とする処理を想定されている場合や、想定ユーザ数等が多い場合は、より多くのメモリを必要とします。この点を御考慮いただき必要となるメモリ容量を御算出下さい。
- ハードディスク領域:200MB (intra-mart ベースモジュールのみ)
 10MB (intra-mart 文書管理システムのみ)
 ※注意 実行するシステムの規模や登録データ量により運用時に必要なハードディスク容量は変化します。
 Storage Service は、管理するデータ量に比例してハードディスク容量を必要とするため、十分な領域を確保してください。
 各種ログは ApplicationRuntime 上に保存されます。長期間の運用も考慮し、十分な空き容量を確保してください。
- DB(対象:Oracle のみ)の文字コードを UTF-8 で構築する場合はパッチ 5.0.5 の適用が前提となります。

◆ ブラウザ要件

以下、弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。

- Windows2000 + Microsoft Internet Explorer 6.0(SP2)
- WindowsXP + Microsoft Internet Explorer 6.0(SP2)
- WindowsXP + Netscape7.1
- WindowsXP + Microsoft Internet Explorer 7.0
- WindowsVista + Microsoft Internet Explorer 7.0

3. 制限事項

(1) intra-mart 文書管理システムの制限事項および注意事項

- 以下の文字はデータを登録する際に使用することができません。
 - ‘ シングルクォーテーション
 - “ ダブルクォーテーション
 - ¥ 円マーク
 - , カンマ
 - ~ チルダ
 - ~ から
 - | パイプ
 - # シャープ
- ファイル、フォルダの保存に関しては OS のファイルシステムに依存します。
- 電子ファイルの閲覧方法は設定ファイル webdoc.ini に記載されている「WDC_FILE_DOWNLOAD_DISPLAY」の値を切り替えることで変更することができます。
 - ・ ON の場合: ブラウザ内に電子ファイルを表示させて閲覧します。
 - ・ OFF の場合: 電子ファイルをダウンロードして閲覧します。
- 文書管理システムを安定稼働させるためのデータ上限値は、下記を目安としてください。

【システム構成条件】

- ・ App-Runtime: 1 台
- ・ Db サーバ: 1 台
- ・ 想定同時アクセス数: 10
- 文書管理システム全体を操作する上でのデータ上限値
 - ・ 文書の総数: 5000
 - ・ 電子ファイルのサイズ: 1MB~2MB
- 「ツリー表示機能」を使用する際のデータ上限値
 - ・ 文書種別: 100
 - ・ 文書種別に付与するアクセス件数: 2~4
 - ・ 文書種別下に配置する文書数: 1文書種別につき 500 文書

◎上記の数値はあくまでも目安として考えてください。

(ネットワークのトラフィック状況や、その他の条件によっては、上記条件が当てはまらないケースもあります。)

◎文書、文書種別およびアクセス権を大量データで運用する場合、最新版文書の閲覧は「文書検索機能」より行ってください。最新版文書のツリー表示機能は「操作性を重視した仕様」としているため、大量データで運用した場合はレスポンスが悪化する可能性があります。

◎電子ファイルのサイズは、可能な限り小さいサイズのファイルでアップロードする運用としてください。

膨大なサイズのファイルアップロード処理は、サーバのメモリを大量に占拠するため、システムに悪影響を与えます。電子ファイルを PDF ファイルへ変換することや画像の貼付形式を変更することでファイルサイズを抑えることができます。

- グローバルポータルに文書管理システムのポートレットを使用することは出来ません。
- アプリケーションロールがないユーザが文書管理システムのポートレットを使用するとポートレットに「URL が不正です」と表示されます。
- 「グループ管理者」が行った変更は、ログイン中、ユーザにすぐに反映されません(ユーザの再ログイン時に反映されます)。例えば、任意のユーザでログインをした後、別ブラウザにて「グループ管理者」でログインをして、任意のユーザの有効期限を無効の日付けに変更しても、任意のユーザは、メニューからページに遷移して、各処理を行うことができます。
- ファイルダウンロード時の挙動は、ブラウザに依存します。現在以下のような現象が発生することが確認されています。
 - ファイルダウンロード機能において IE6.0 で Excel ファイル(*.xls)を直接開いた場合に、「ページが表示できません」を表示する場合があります。この場合はファイル名のリンクを「右クリック→保存」にてダウンロードすることができます。
 - ファイルダウンロード機能において、スクリプトエラーが表示される場合がありますが動作上問題ありません。
 - ファイルダウンロード機能において、ファイルを直接開くとファイルの中身が表示されない場合があります。この場合は「保存」にてダウンロードすることができます。
 - ファイルダウンロード機能において、「0(ゼロ)byte」のファイルをダウンロードするとエラーが発生します。
 - ファイルダウンロード機能において、ファイル名に「2byte」文字を含むファイルのダウンロードするとブラウザによってはファイル名の欄に任意の英数字が表示されます。
 - ファイルダウンロード機能において、拡張子のないファイルを開くとエラーが発生します。
 - ファイルダウンロードよりファイルを直接「開く」を選択した場合、特定のファイルが開かなくなる。
 - ◇ NoCacheFilter を無効に設定する事で回避可能ですが、NoCacheFilter を無効に設定すると以下の操作が可能になってしまいます。

例:ブラウザの戻るボタンが有効になる。

NoCacheFilterの使用に関しましては、「configuration_guide_v5.pdf」のP102 「4.3.2.18 ブラウザにページをキャッシュさせないためのフィルタ」を参照ください。
 - ファイルダウンロード機能において IE7 でパワーポイント(*.ppt/*.pptx)を直接開いた場合に、パワーポイントの内容が正しく表示されない(警告マークが表示される)があります。この場合はファイル名のリンクを「右クリック→保存」にてダウンロードすることで、ファイルを参照して下さい。
 - IE7 で Microsoft office2007 のパワーポイント(*.pptx)を拡張子付きで登録すると、表示が正しくできない場合があります。拡張子なしで登録してください。
 - WindowsXp で IE7 を使用した場合、エクスプローラのフォルダオプションの設定によりファイル(*.xls/*.*xlsx/*.*ppt/*.*pptx)が正しく表示できない場合があります。この場合はファイル名のリンクを「右クリック→保存」にてダウンロードすることで、ファイルを参照して下さい。

(2) その他

- intra-mart ベースモジュール Ver.5.0,Ver5.1 および intra-mart WebPlatform Ver6.0,Ver6.1 の制限事項に準拠します。